

講習会・勉強会活動報告

テーマ：「脳血管障害患者に対する肩関節へのアプローチ」

講師：千里リハビリテーション病院

副院長 吉尾 雅春 先生

日時：平成24年12月8日（土） 9:30～16:00

内容：1. 講義：脳の運動制御に基づく肩関節の機能解剖について

2. 実技：痛みや亜脱臼を伴う脳血管障害患者の肩関節へのアプローチ法について

参加人数：約100名（PT OT）



講習会テーマには“肩関節”とありましたが、お話の始まりは“股関節”でした！！

？？と思いながらも、股関節の話に引き込まれていると、“股関節の上に載っている骨盤、その上の脊柱、そして肩関節”と話が進んでいき、“肩関節を見るためには、肩関節だけを見てはいけない”ことに自然と気付かされるどころから講義は進んでいきました。

脳血管障害の肩関節については、従来のブルンストロームステージに基づく考え方にとらわれない、“筋力とてこ”に視点を置いた考え方やオートマティックな姿勢調節に関わる網様体脊髄路を賦活させる具体的なアプローチ法等について実技を交えながら分かりやすくご教授いただきました。



吉尾先生の講習会を通して、脳血管障害に限らず、私たちが臨床で接する症例全てにおいて何を評価し、何を治療しなければならないかをあらためて考えるとともに、本当の意味で社会に貢献できる理学療法士・作業療法士としての原点と進むべき道を示していただきました。

吉尾先生には、師走の大変ご多忙の中、山口リハビリテーション病院にてご講義いただきましたことを改めて感謝しお礼を申し上げます。



（文責 理学療法士 西村英子）